

公告 昭 29.11.10

出願 昭 28.4.21

実願 昭 28—11382

出願人 考案者

鮫

島

利

治

東京都目黒区自由ヶ丘135

(全 2 頁)

手押回転式掃除機の塵埃収容箱

図 面 の 略 解

第1図は手押回転式掃除機の側面断面図、第2図は同一部縦断平面図、第3図は塵埃収容箱の側面断面図、第4図は同平面図、第5図は本考案ゴム板の平面図である。

実用新案の性質、作用及効果の要領

図面に於て1及2は側板にして支柱3,4,5及6を以て締め上げて1個の枠を形成する。而して両側板の内面に沿つて溝付動輪8及9を有し其の内部に塵埃収容箱7を懸垂する。

又動輪8及9と同一平面上にブラシローラー用溝付ブーリー10及11並びにテンションブーリー14及15を設け、ブラシローラー12及13は夫々溝付ブーリー10及11に締着されて居る、17及18はエンドレスベルトにして図示の如く取付けられ、本機を進行せしめると動輪8及9の回転に依りて此のエンドレスベルトを経てブラシローラー12及13が回転して床面上の塵埃を収容箱7に掃込む作用を為すもので、テンションブーリー15及14は其の取付中心を僅かに移動する事に依りてエンドレスベルト17及18のテンションを加減する事が出来る様に側板1,2に取付けるものである、16はハンドルで

ある。

塵埃収容箱7は床面上を摺れ摺れに触れて動輪8,9の軸に懸垂されながら掃き上げられた塵埃を収容するものにして本案は此の収容箱の床面に触れる前縁に19のゴム板を取付けたものである。ゴム板19は第5図に示す如く前掛式にして其の幅の約3分の2を数条切り込みたるものである之を第3図の如く収容箱7の前縁に取付ける事に依り床面に部分的凹凸ある場合、又は塵埃の大きさに大小ある場合に其凹凸大小に応じて部分的に或は下方に、或は上方に上下して収容箱全体に波状運動を起さぬ様にして収容箱内の塵埃を飛散せしめない様にした。此のゴム板が床面に触れて収容箱の前縁を床面に触れしめざるを以て騒音を發せず極めて静かに作業出来る効果がある。

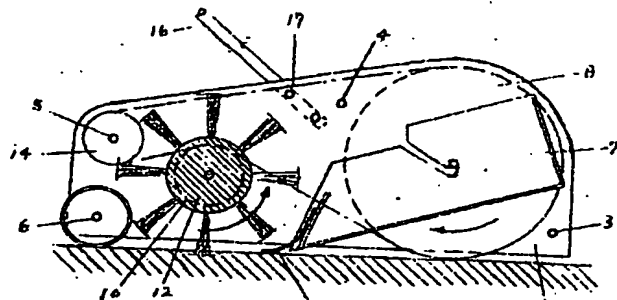
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示すが如く左右両側板内に動輪、塵埃収容箱、ブラシローラー及エンドレスベルトを設けたる手押回転式掃除機に於て塵埃収容箱の塵埃取入れ前縁に前掛式に数条の縦切り込みを有するゴム板19を取付けてなる塵埃収容箱の構造。

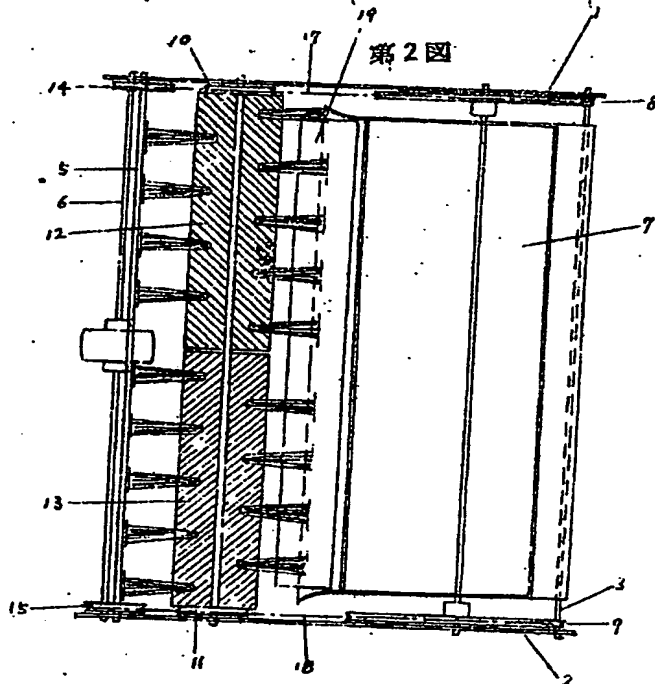
(2)

實用新案出願公告
昭29-14570

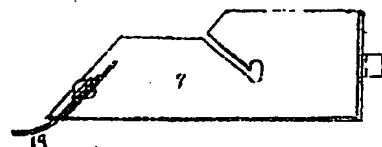
第1圖



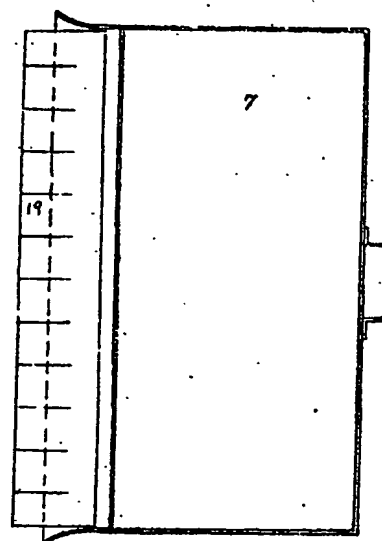
第2圖



第3圖



第4圖



第5圖

